



都志見新聞

(医)医誠会都志見病院
http://tsushimi.jp

発行部数 309部
発行月 1, 4, 7, 10月
発行人 都志見病院
広報室



萩市・阿武町住民健診のお知らせ

健診・がん検診を受けましょう!!

※山口県民の4人に1人はがんで亡くなっています

何を受けたいかわからない場合は
お気軽にご相談ください

【相談窓口 **0838-22-3090** (直通)】



	萩市	阿武町
検診が 受けられる人	萩市国保・後期高齢者 社会保険扶養者 <small>※社会保険本人でがん検診を受ける機会がない方は萩市健康増進課にご相談ください。</small>	阿武町国保・後期高齢者 社会保険扶養者または本人
実施期間	1月30日(金)まで	2月27日(金)まで
予約受付窓口 【健診室】	時間:午前10時30分~午後3時 電話:0838-22-3090	

※詳しくは、各市町の「健診のしおり」をご覧ください

女性の方へ!

当院では、マンモグラフィと併せて超音波検査を行なっています。
マンモグラフィだけでは見つけにくいがんも発見しやすくなります。

※検査の際、女性技師を希望される方はご相談ください

※自覚症状がある人、該当のがんで治療や経過観察中の人は専門医やかかりつけ医に相談しましょう。

がん検診で必ずがんが見つられるわけではありません。

がんがなくても、検診の結果が「がんの疑い」となる場合があります。



国保ドック・後期高齢者
ドック・任意胃カメラの
予約は終了しました。
ありがとうございました。



令和7年5月14日
看護の日



まちの保健室開催

まちの保健室を開催し、血圧測定、体脂肪測定、身長・体重測定、ハンドマッサージ、乳がんモデルによるがんの早期発見指導を行いました。

20名のご参加をいただきありがとうございました。

入院患者さまと透析患者さまには、心を入れたメッセージカードとウェットティッシュをプレゼントし好評をいただきました。



「心に残る看護場面」発表会

令和7年5月21日『心に残る看護場面』発表会にて、当院の6名の看護師が発表を行いました。

【発表題目】

〔6階病棟〕

福田 正悟 『終末期の患者様との関わりで学んだこと』

〔手術室〕

片山 梢 『生きることを支える看護と最期の時に寄りそう看護』

〔5階病棟〕

原田 美穂 『最期を迎える患者様とご家族との関わりについて』

刀禰 成美 『終末期患者様の看取りを通して学んだこと』

中谷 侑由 『終末期の患者様のご家族への関わり方』

〔透析室〕

石田 茉実 『透析室で初めての穿刺・患者様との関わり』



萩高等学校 校外授業（グローバル・ラーニング）

令和7年5月22日、萩高等学校 校外授業（グローバル・ラーニング）の取組みとして、医療に関心をもつ生徒さん2年生5名の訪問がありました。

感染症発生時・まん延時の医療について、

「感染症発生・まん延時どんなことがたいへんでしたか？」

「体制や対応にどのような変化がありましたか？」

「萩医療圏域のクラスター支援チームについて教えてください。」など質問を受けました。

当院での対応・経験について感染管理専従看護師と看護部長がお話しました。

皆さん医療職を目指しておられるとのこと、まっすぐな瞳がとても頼もしく感じられました。

私どもの経験談が少しでもお役に立ち、未来の仲間が増えるきっかけになれば嬉しいです。



『感染管理認定看護師・特定行為研修終了しました！』

昨年度教育課程を終了し、本年度より感染管理の専従看護師となりました。『楽しく・わかりやすく』をモットーに活動していこうと思います。

病院をはじめ、地域の皆様を感染症から守れるよう尽力いたします。感染症のご相談等あればお声かけください。また、特定行為（医師の指示で点滴の調整など一部の医療行為）を実施する場合があります。

患者様が不利益を被ることないよう日々自己研鑽を怠らず学び続けようと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

感染管理専従看護師 石飛 光太郎





『学んでみよう！《がん》と《地域医療》 in 須佐』を開催します！

都志見病院 第20回 出前講座

学んでみよう！
“がん”と“地域医療”

日時 令和7年 7月12日(土)
10:00~11:30 (9:30 開場)

会場 須佐公民館 2F講座室
入場無料・申込不要

プログラム

- ① 「がんについて知ってみよう」 講師 山本達人
- ② 「検診で早期発見」 講師 茂刈祐子
- ③ 「がんと地域医療」 講師 岡野芳子

④ 看護師による
血圧測定

⑤ パフレット
展示

⑥ 患者サロン
“だいたい”
について

都志見病院 須佐公民館 電話:097-22-1111

〔日時〕：令和7年7月12日（土）

〔時間〕：10:00～11:30（9:30 開場）

〔開場〕：須佐公民館 2F講座室 【 入場無料・申込不要 】



※参加者多数の場合は、先着順とさせていただきますのでご了承ください。

◎ 講演1 「がんについて知ってみよう」 都志見病院 院長 山本達人

◎ 講演2 「検診で早期発見」 都志見病院 保健師 茂刈祐子

◎ 講演3 「がんと地域医療」 患者サロン“だいたい”代表 岡野芳子 様



『患者サロン だいたい』を開催しました



令和7年6月17日（火）14:00より、都志見病院の7階会議室にて、『患者サロンだいたい』が開催されました。

がんと伝えられた患者さんとそのご家族、そして心の悩みを抱えている方が同じ場で過ごし、情報の交換を通してお互いの励ましの場となることを目的に患者サロンは開催されています。

今回の講演には14名の参加があり、山本院長が勉強会として、「がん診療の現状」や「高額療養費制度」、「医療提供体制が抱える問題」等をテーマに講演を行いました。皆さんは真剣な眼差しで聞き入っておられました。また、講演後の質疑応答では治療継続での悩みや、将来的な医療でのAI活用など活発な意見交換が行われました。



No.29

… 夏バテについて …

リハビリテーション部 技士長 佛圓 祐基

徐々に暑くなっていますがいかがお過ごしでしょうか。前回、春バテについてお話したので今回は夏バテについてお話しようと思います。

夏バテは「夏特有の暑さによる疲労・体調疲労」を表現する言葉としてよく使われています。夏バテのおもな症状としては、全身の疲労感・倦怠感・食欲不振・熱・下痢などがあげられます。

夏バテは自律神経の乱れと関係していると言われています。

対策としては①十分な睡眠、②栄養バランスのとれた食事(タンパク質、ビタミンやミネラルが豊富な魚や野菜、海藻類など)、③適度な運動習慣(ウォーキングやラジオ体操など) ※炎天下での運動は熱中症リスクが高くなるため、やめましょう。そしてこまめな水分摂取を忘れずに。

主治医の先生と相談しながら食事、水分摂取、無理のない範囲で運動などを実施していただけたら幸いです。



治療と仕事の「両立支援相談窓口」の開設について

この度、都志見病院内に「治療と仕事の両立支援」の出張相談窓口を開設いたしました。

毎月第3水曜日10:00～13:00に山口産業保健総合支援センターから社会保険労務士や保健師が派遣されて対応いたします。

対象は、反復・継続して治療が必要となる疾病（がん、糖尿病、脳卒中、難病など）の患者様（労働者）等です。

詳細につきましては

都志見病院 地域連携室

0838-22-2811（代表）へ

ご連絡ください。

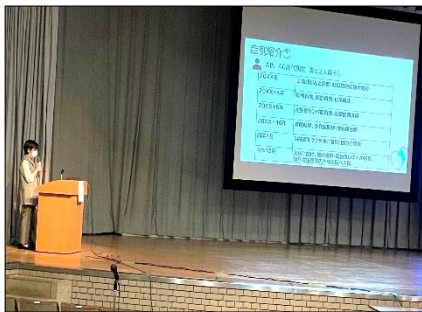


治療と仕事の
「両立支援相談窓口」
を開設しました!!
毎月第3水曜日
10:00-13:00
場所 都志見病院
入退院支援センター
対象 がん、脳卒中、心疾患
糖尿病、難病などの
治療を行う労働者

このようなことで悩んでいませんか?
「がんと診断されたけど仕事を続けたい」
「病気のことを会社にうまく伝えられない」
「治療と仕事を両立できるか不安」
など...

お問い合わせ Tel.0838-22-2811
都志見病院 地域連携室 担当: 松田

山口県緩和ケア研究会で発表を行いました



5/11（土）山口県緩和ケア研究会、一般演題において発表を行いました。

山口県緩和ケア研究会は県内の緩和ケアに携わる医療者が集い、一般演題発表や特別講演を通して日々の緩和ケアを振り返り、これからの緩和ケアに活かすため研鑽している研究会です。

今回の事例では、病棟スタッフはもちろん、リハビリスタッフ・医療ソーシャルワーカー・ケアマネージャー等と連携することで、「在宅で暮らしたい」という本人の希望を諦めずに叶えることができました。

昨年11月に緩和ケア専従看護師となり、たくさんの患者さん・ご家族と関わらせて頂いています。感じる苦しみはがんによる痛みだけでなく、精神心理的・社会的と多岐に渡ります。患者さんやご家族の苦痛を少しでも緩和し、安心して過ごせるようケアをしていきたいと思えます。

当院は、地域がん診療病院として山口大学医学部付属病院などのがん診療連携拠点病院と連携をとりながら患者さんやご家族のケアを行っています。疾患や治療による痛みや吐き気・だるさなどの身体的苦痛、先行きの見えない不安などの精神的苦痛、治療・通院によってかかる経済的な負担による社会的苦痛、人生について考え苦悩するスピリチュアルペイン等、患者さんやご家族の苦痛や悩みに沿って、支えて続けていきます。些細なことでもお気軽にお声がけください。

..... 緩和ケア専従看護師 秋丸香織

病院協会 優良職員表彰



このたびは、誠に光栄な賞をいただきありがとうございます。ごぞいます。

思い返せば〇十年前…都志見病院に入職し、あっという間に時間が経ってしまった感じがしております。日頃より支えてくださる患者さま、地域の皆さま、そして共に働く職員のおかげと深く感謝しております。今後も、ひとり一人の方々との関わりを大切に、体調にも留意しつつ看護に邁進して参ります。引き続きご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

看護師 江水初美 奥川広子